

提 言 書

— 令和 4 年度議会報告会を終えて —

栗山町議会

はじめに

栗山町議会の議会報告会（以下「報告会」という。）は、平成１７年３月に宮城県本吉町（当時）に続き全国２例目として開催して以来、今年で１８年目を迎えた。

今年の報告会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、本格的な開催は２年ぶりとして、令和５年１月１６日から２月７日までの日程で、町内１２会場において開催した。

今年のテーマは、町民の生活に大きく影響のある栗山赤十字病院改築の進捗状況や、ごみの焼却処理開始による分別の変更、まちの賑わいづくりのため整備を進めてきた栗山駅南交流拠点施設「くりふと」のオープンについて、また、議会の課題である議員の報酬と定数について、それぞれ町民に説明し意見交換を行った。報告会には、延べ１２２名の町民の参加があり、それぞれのテーマに対して、数多くの意見や要望が出された。

これらの意見や要望については、議会から行政に対して提言するもの、常任委員会における所管事務調査に反映するもの、議員個々に取り上げるものなどにそれぞれ分類した。

この提言書は、前述した議会内での討議を経てまとめたものであり、町民からの貴重な政策提案として、今後の行政運営の一助とされることを期待する。

令和５年３月２７日

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦

1. 諸課題に対する提言・要望

□ごみ焼却処理開始に伴う分別の変更

(議会の見解・提言)

新しいごみ処理焼却施設は令和6年4月から稼働を開始する予定となっていて、これまでの炭に出来るごみは燃やせるごみとなる。また生ごみも燃やせるごみとなるが、その水分量をいかに減らせるか、町民の協力が必要となる。

そのためにも丁寧な分別方法の周知が必要であり、スムーズな分別方法の移行が求められる。また、家庭での生ごみ処理に対しての助成の要望があったので、検討されたい。

(報告会おける町民からの発言)

- ・焼却ごみの運搬はどうするのか。
- ・新しい分別方法の説明冊子は発行するのか。
- ・桜山処理場はいつまで処理可能なのか。
- ・生ごみを自宅で処理するための補助をして欲しい。
- ・硬質プラスチックは燃やせるごみというのは理解が難しい。

□栗山赤十字病院改築の進捗状況

(議会の見解・提言)

栗山赤十字病院の建て替えについては令和7年7月に向けてオープンが決まった。

町民の一次医療を確保する病院として栗山赤十字病院は必要不可欠であり、今後は医療の質の向上に向けて町民の意見を聞きながら要望をしてもらいたい。

(報告会おける町民からの発言)

- ・サービスはどうなるのか、質は上がるのか。
- ・送迎をして欲しい。

□栗山駅南交流拠点施設「くりふと」のオープンについて

(議会の見解・提言)

「くりふと」は既にプレオープンしており、4月1日に正式オープンとなる。

しかし、まだ町民の認知度は十分とは言えない状況のため、今後も一層の PR 活動を強化されたい。

(報告会おける町民からの発言)

・オープン時に継立から「くりふと」まで見学バスを出して欲しい。

□除排雪について

(議会の見解・提言)

除雪の問題は自然条件に左右され、一律に解決される課題ではないが、原則として通学時間までに除雪することを基本とされたい。

(報告会おける町民からの発言)

・農村地区の除雪が後回しになっているので、通学時間までに除雪を終了して欲しい。

栗山町議会